

山スキー技術講習会実施

平成 23 年 3 月 1 ～ 3 日、蔵王温泉スキー場及び上山市畜産振興牧場跡地等において山スキー技術講習会を実施しました。上山市山川牧場の山川喜市氏を講師に、朝日庄内森林環境保全ふれあいセンター職員 4 名が受講しました。

当センターでは、朝日山地森林生態系保護地域内へのスノーモービル乗入れへの対応として、国立公園を管理する環境省とも連携して春山の巡視活動を行っていますが、山スキーの導入を機に、安全確保の観点から毎年「山スキー技術講習会」を実施しており、今回は 3 度目の講習会となります。

3 月 1 日は、山スキーの基礎知識や用具の取扱、冬山の安全、応急手当等について学びました。

3 月 2 日は、蔵王温泉スキー場（横倉ゲレンデ等）で、山スキーの基礎について、山川氏より技術講習を受けました。山スキーを安全に止めることや左右にスムーズに曲がれるように言葉や体・足の使い方等について丁寧な指導を受けました。講習の効果が顕著に現れたこともあり、午後からは、標高が高いユートピアゲレンデから一気に滑り降りるロング滑降に挑戦しました。ゲレンデの雪質は最高でも猛吹雪で最悪の天候でしたが、この経験が巡視活動に役立つときがいつかあると感じました。

3 月 3 日は、ロープウェイで蔵王山頂駅に行き蔵王地蔵尊にお参りしたのち、超ロング滑降に挑戦しました。樹氷原コースのざんげ坂では吹雪で先が見えない状態でしたが、前日に習得した技術を活かして安全に滑ることが出来ました。ユートピアゲレンデからは、ガスも晴れて視界良好となりました。百万人ゲレンデで個人技量にあわせて滑降した後にゲレンデを離れ、蔵王林道からは新雪を踏みしめながら歩く訓練を行いました。県道蔵王ラインを横断してからは、カラマツ林内や牧場跡地をゆっくりと灌木等を避けながら滑り降り、目的地である山川牧場に到着しました。標高差約 1,100 m、水平距離約 10 km、所要時間約 3 時間 30 分の大滑降が無事終了しました。



朝日庄内森林環境保全ふれあいセンター